

国際物流拠点浜田港の整備について

【国土交通省】

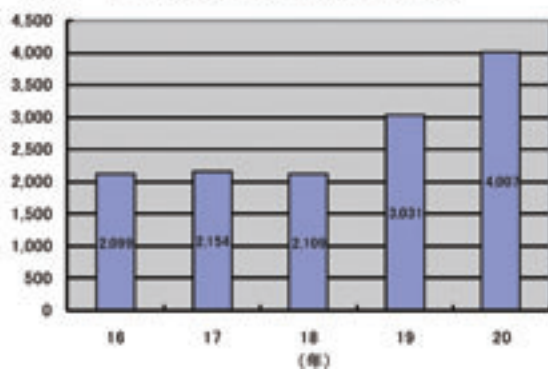
提案・要望の内容

日本海側の国際物流拠点である浜田港と建設中の山陰道・浜田三隅道路を直結する、臨港道路福井4号線を国の直轄工事として施行すること。

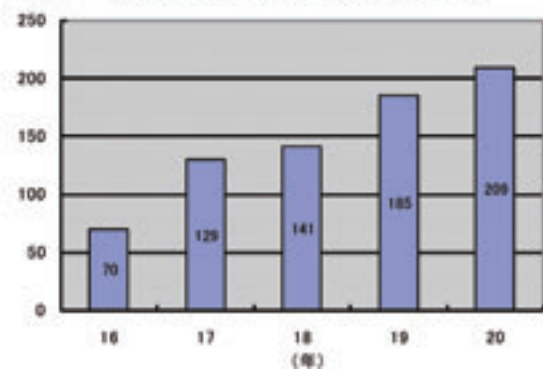
【現状と課題】

- 重要港湾浜田港においては、釜山港との国際定期コンテナ航路を平成13年に開設し、また、平成20年にはウラジオストク港とのRORO船による直行便の運航を開始した。
- 定期航路の整備とポートセールスの強化により、浜田港における外貿貨物量は近年増加しており、特にコンテナ貨物取扱量及び完成自動車輸出量は大幅に増加している。

(TEU) コンテナ取扱個数の推移(浜田港)



(台) 完成自動車輸出量の推移(浜田港)



- 浜田市と山陽を結ぶ高速交通網は整備されているが、浜田港から浜田自動車道浜田ICに至る区間（臨港道路福井1号線、国道9号、国道9号バイパス）は、大型車の通行がしにくい箇所があり交通のネックになっているため、高速交通網へ円滑に直結するアクセス路の整備が喫緊の課題である。



【本県の取組状況・方針】

- 官民一体となって国内外へのポートセールスを行っているが、今後も引き続き浜田港振興に向け取り組んでいく。
- コンテナ貨物に係る各施設使用料及び輸出・輸入に係る野積場使用料について減免措置を実施し、港利用の促進を図っている。
- 臨港道路福井4号線が接続する浜田三隅道路及び熱田インター線について、平成20年代半ばの完成を目指し、国土交通省及び島根県において整備を行っている。



【RORO船に積み込み中の完成自動車】

【提案要望の効果】

- 利便性の向上により取扱貨物量の増加が期待でき、浜田港振興が図られるとともに石見地域だけでなく、山陽方面の経済活性化に寄与できる。